講師プロフィール

＜講演１講師＞

一般財団法人日本エネルギー経済研究所

研究顧問　工藤（くどう）　拓毅（ひろき）　氏



○　1991 年筑波大学大学院環境科学研究科修了後、日本エネルギー経済研究所入所。地球環境ユニット担任補佐、グリーンエネルギー認証センター長を経て 2018 年理事、2026 年 9 月より研究顧問。

○　産業標準化事業表彰経済産業大臣表彰。

○　米国 Resources for the Future 客員研究員、UNFCCC The Joint Implementation Supervisory Committee (JISC) Committee/Alternate Member を歴任。

○　現在、ISO/TC207 Strategic Leadership Group Rotating Member、ISO/TC17/SC21 Chairperson、ISO/TC207/SC7 国内委員会委員長、GX 需要創出に向けた研究会座長、温対法に基づく事業者別排出係数の算出方法等に係る検討会座長等を務める。

＜講演２講師＞

名古屋大学大学院 工学研究科 応用物質化学専攻

教授　松田（まつだ）　亮太郎（りょうたろう）　氏



○　2005 年博士（工学）取得。科学技術振興機構 ERATO 北川統合細孔プロジェクトグループリーダー、京都大学物質－細胞統合システム拠点特定准教授を経て、2015 年名古屋大学大学院工学研究科教授に着任、現在に至る。

○　2022 年より JST 共創の場形成支援事業(COI-NEXT)セキュアでユビキタスな資源エネルギー共創拠点（変環共創拠点）プロジェクトリーダーを務める。

○　日本化学会進歩賞、文部科学大臣表彰若手科学者賞、日本学術振興会賞を受賞。

○　現在は、Metal-organic Framework (MOF) を中心とした機能性ナノ空間の化学の研究を推進。変環共創拠点では、資源・エネルギーを自ら生産する社会を実現するための技術の社会実装や社会行動変容に関する研究開発にも注力。

＜事例発表講師＞

日本特殊陶業株式会社 エネルギー事業本部 カーボンリサイクル開発部

エネルギー循環課　課長　小泉（こいずみ）　洋（ひろし）　氏



○　2006 年日本特殊陶業に入社、その後研究開発部門や事業部での開発業務を経験。

○　2015 年米国子会社へ約 1 年間出向し、現地ベンチャー企業とジョイント開発を経験。

○　2022 年カーボンニュートラル（メタネーション）に関連する業務に着手、現在では燃料合成を軸に周辺他技術との統合を図る開発テーマを担当。